

平成30年12月20日

各位

東京工業大学

すずかけサイエンスデイ実行委員会

委員長 初澤 毅

すずかけサイエンスデイ2019趣意書

「すずかけサイエンスデイ」は、昭和50年に東京工業大学大学院総合理工学研究科の3専攻等が目黒区の大岡山キャンパスから横浜市緑区の長津田キャンパスに移転が開始され、その「開設記念行事」として昭和54年に開催された「すずかけ祭」を起源としています。教職員、本学の同窓会（(一社)蔵前工業会）関係者、企業関係者及び地域住民の皆様を招き実施したことに由来し、近年ではオープンキャンパスと同時開催され、今年で40回目を数えました。

この度、名称を「すずかけサイエンスデイ」と改称しました。従来どおり、大学における研究の目的・内容・成果等をわかりやすく説明しキャンパスへの理解を深めていただくために研究室等を公開します。また、お子様から地域住民を始め企業や一般の方々まで幅広い世代の皆様楽しんでいただけるように学生サークルやOBによる科学実験教室やコンサート、スタンプラリーや博物館・図書館の公開等様々な企画も用意されています。さらにキャンパスには多数の外国人留学生が在学しており、研究室公開や各行事等を通じてグローバルな雰囲気に触れられる機会でもあります。

近年、子どもたちの「理科離れ」が叫ばれておりますが、「すずかけサイエンスデイ」では、各研究室で行われる最先端の研究紹介や学生・OBによる科学実験教室、オープンキャンパス等の各種イベントを通じて、研究者や学生等との対話等により来場者に理科や科学の面白さ・楽しさ・プロセスを体感してもらうことで自然な形で知的好奇心や興味が喚起される内容となっており、理科や科学をより身近に感じ興味をより高める絶好な機会になることを確信しています。年々来場者数も増加しており、2018年の来場者数は過去最高の約4,000名となっています。

すずかけサイエンスデイ(前回はずずかけ祭)の内容をWEBにてご高覧の上、趣旨にご賛同いただけます場合は、ご支援を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

(昨年の報告書)

<https://www.titech.ac.jp/news/2018/041658.html>